



<自分の命は自分で守るための避難訓練>

日常生活を送る中で地震や火災、大雨、土砂災害、不審者など、いつどのような災害が起こるか分かりません。しかし、どのような災害が起こっても命は守り抜かなくてはなりません。学校では自助、共助の重要性を理解し、実践力を育てるために、命を守るための様々な訓練や学習活動をしています。4月には地震対応の避難訓練を、5月の運動会では引き渡し訓練を、そして6月に入って土砂災害対応の避難訓練を行いました。どの訓練においても合言葉は「お・は・し・も・ち（おさない、はしらない、しゃべらない、もどらない、ちかよらない）」です。

万が一、災害が起きても、落ち着いて自分の命を守る行動がとれるよう、今後もいろいろな訓練を積み上げ



<命を守るための交通安全教室 1年生・4年生>

6月3日、1年生と4年生を対象に交通安全教室を行いました。宇摩交通安全協会、豊岡支部、四国中央警察署交通安全課、そして市役所観光交通課と、多くの関係機関の方が来てくださいました。雨のため、運動場で行うことはできませんでしたが、体育館で学びを深めることができました。1年生は信号機、交差点、踏切などでの安全な歩行について、4年生はDVDの視聴を通して、自転車の安全な乗り方や交通ルールについて学びました。

安全な歩行、そして、自転車の安全な乗り方について、ご家庭で子どもたちと話し合ってください。



熱中症から命を守る！



6月8日、四国地方が梅雨入りをし、先週は雨続きでしたが、今週は暑い日が続いています。

この時季は、熱中症が心配されます。学校では、以下の点について 指導しています。①十分な量のお茶を入れて持ってくる。(2本目は薄めたスポーツドリンク可) ②外で遊ぶときは、帽子をかぶり遊んだ後は十分な水分を取る。③熱中症警戒アラートが出ている日は、外遊びはしない。④登下校中、必ず黄色の帽子を着用する。加えて休み時間の十分な換気や、こまめな手洗いも実施しています。ご理解とご協力をお願いします。先日テトルにて、登下校の熱中症対策についてお知らせも入れていましたのでご確認をお願いします。